

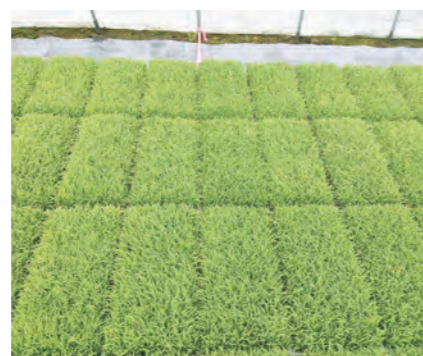
水稲育苗用ロックウールマットの効果確認試験

JA月形町

岩崎 貞治



慣行区



左試験区 右慣行区



奥試験区 手前慣行区

試験目的

水稲育苗用ロックウールマットの効果確認試験

試験作物 及び品種

水稲

試験資材 及び数量(規格)

クミアイこめパワーマット(寒冷地用) 5ケース(125枚)

栽培方法

定植日	収穫日
慣行区:4月中旬 試験区:4月中旬	慣行区:9月 試験区:9月

資材使用期間

4月中旬

試験区面積

3,500㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

軽量であるため苗運びがしやすく、腰の負担軽減につながった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

事前に聞いてはいたが、芽が出るまでが若干遅いので不安になったが、移植前には最終的に追いつき、生育には差がなかった。また、収穫への影響は全くなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】:水分の保持率が高いため管理がしやすかった。

【問題点】:苗箱によっては根が張りすぎて剥しにくかった。

モニター感想

軽量であり苗運びが容易で労力の軽減につながった。

灌水についても土と若干異なると聞いていたが、特に問題なく育苗することができた。

ただし、移植作業時にはマットの継ぎ目が盛り上がって欠株が生じてしまった。

JA担当者の感想(生産資材課 松川課長)

新資材として注目しています。

労力低減資材として作業性の改善が必要と感じています。

また育苗の本来の目的、良質な苗育成ができることが普及のために必要だと考えます。

今後の使用について

改良して欲しい。

移植作業時にデリケートに扱わなくてもロスが出ないようにしてほしい。

将来希望する資材について

作業労力の軽減につながる資材

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 クリントート

4 機能的マルチ

5 育苗資材

6 酪農資材

7 省力化資材

8 その他